

# 令和5年度第2回一関・平泉定住自立圏共生ビジョン懇談会

日 時 令和5年10月5日（木）  
午前10時00分～午前11時30分  
場 所 一関市役所2階 大会議室A

## 次 第

1 開 会

2 挨拶

3 協議事項

- (1) 第2次一関・平泉定住自立圏共生ビジョン重要業績評価指標（KPI）の令和4年度実績について
- (2) 第3次一関・平泉定住自立圏共生ビジョン圏域の将来像（目指す姿）について

4 その他

5 閉 会

## 令和5年度第2回一関・平泉定住自立圏共生ビジョン懇談会 市出席者名簿

令和5年10月5日開催

No.	役職	氏名	備考
1	市長公室長	菅原 稔	
2	市長公室次長 兼 政策企画課長	飯村 昌弘	
3	市長公室 政策企画課長補佐 兼 政策推進係長	鈴木 敏宏	
4	市長公室 政策企画課 主任主事	渡辺 苑子	
5	市長公室 政策企画課 主任主事	谷藤 義拓	

# 第2次一関・平泉定住自立圏共生ビジョン 重要業績評価指標（KPI）の令和4年度実績概要

【資料No.1】  
第2回一関・平泉定住自立圏共生ビジョン懇談会  
令和5年10月5日（木）

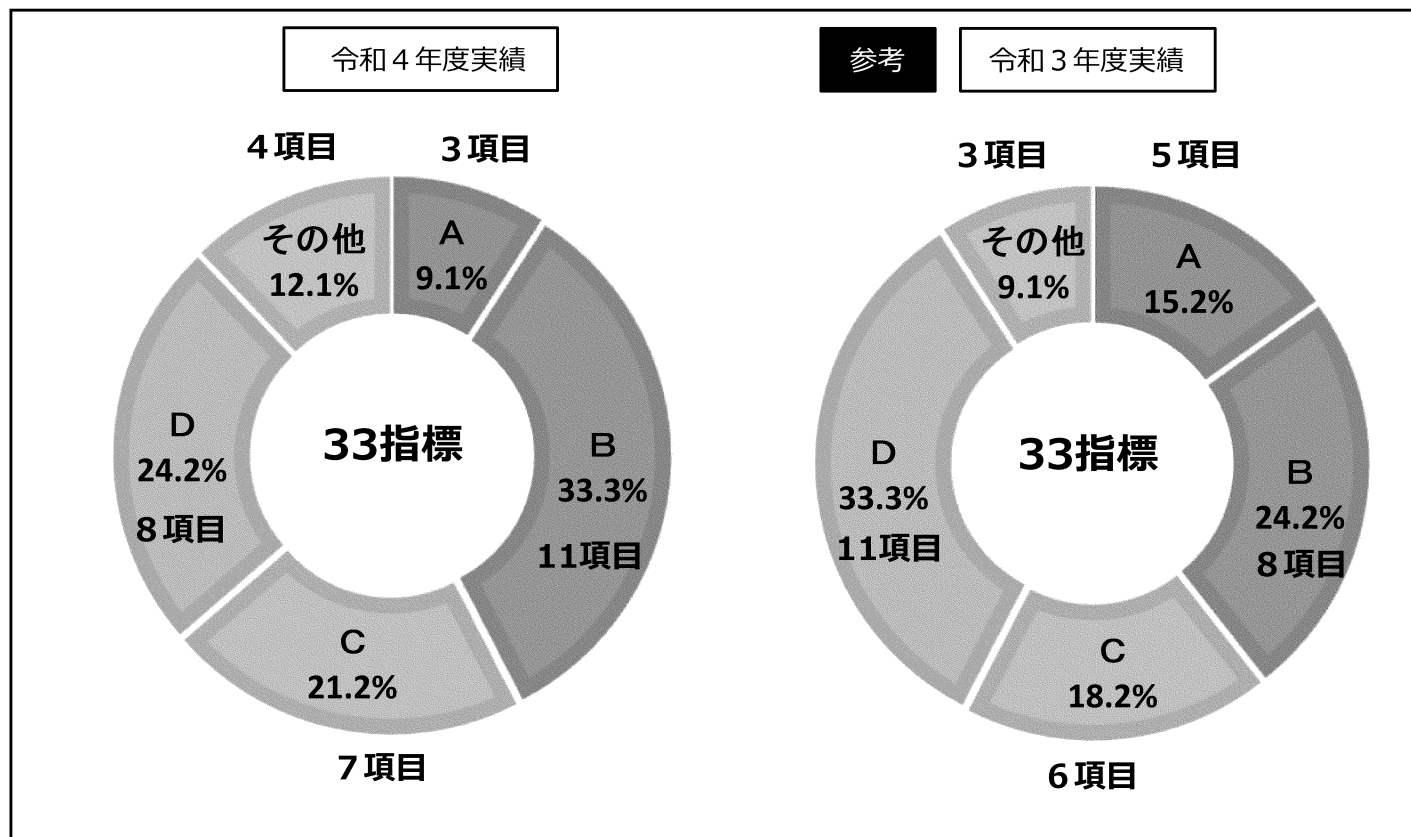
第2次一関・平泉定住自立圏共生ビジョン（令和元年度～令和5年度）における計画の進捗度合いを示すため、達成目標として重要業績評価指標（KPI）を設定しています。

令和4年度実績は、以下のとおりです。

- ・ A 進捗率 100% 3 指標
- ・ B 進捗率 80～99% 11 指標
- ・ C 進捗率 50～79% 7 指標
- ・ D 進捗率 0～49% 8 指標
- ・ その他（未実施等） 4 指標

### 【KPIの達成度について】

- ・ 各政策分野に対して全33指標により、共生ビジョンの評価、進捗管理
- ・ 令和5年度目標値に対して、令和4年度実績値での割合を算出（令和4年度実績／令和5年度目標値）
- ・ A～Dの4段階により達成度を記入
- ・ 新型コロナウイルスの影響等により、把握できなかったKPIについては、達成度を算出していない



### ■ 結果概要

- 実績が把握できないKPIが令和3年度は3項目であったが、令和4年度では4項目となった。
- 進捗率が80%を超えるAとBのKPIが13項目（令和3年度）から14項目（令和4年度）に増加となった。
- 全体として、進捗率は上がっている傾向となっているが、利用者数や参加者数などを指標としている項目は、コロナの影響もあり、令和3年度から変化がないものもある。

### ■ 進捗把握ができなかったKPI（4項目）

- ① 成年後見制度の研修・講習会の参加者数（新型コロナの影響で開催できなかった）
- ② もちサミットの来場者数（新型コロナの影響で中止した）
- ③ バルーンフェスティバルの来場者数（新型コロナの影響でイベント会場を分散化して実施したため、来場者のカウントを行っていない）
- ④ 地産外商イベントにおける新規参加者の割合（新型コロナの影響でイベントを開催できなかった）

### 【これまでの達成度の推移】

No.	分野	①施策区分	②重要業績評価指標（KPI）	R1	R2	R3	R4
1	医療	休日・夜間診療体制確保事業	○休日及び夜間に対する診療の充足率	A	A	A	A
2	医療	新型コロナウイルスワクチン接種事業	○ワクチン接種率			A	A
3	医療	地域医療確保対策事業	○医師・医療介護従事者修学資金貸付修学者数	B	B	A	B
4	福祉	子育て世代の負担軽減事業	○保育料が無料となる第3子以降の数	A	A	B	B
5	福祉	子育て環境整備事業	○地域子育て支援拠点事業の利用者数	B	C	D	D
6	福祉	在宅医療・介護連携推進事業	○医療・介護連携推進団体の研修、セミナー等の参加者数	A	D	D	C
7	福祉	介護人材育成事業	○介護人材の確保に資する事業の利用者数	A	A	A	B
8	福祉	成年後見制度利用支援事業	○成年後見制度の研修会、講演会の参加者数				
9	産業振興	世界遺産「平泉」を核とした観光地域づくり事業	○圏域内の宿泊者数	B	C	C	B
10	産業振興	インバウンド推進事業	○圏域内の外国人宿泊者数	D	D	D	D
11	産業振興	観光地間二次交通整備事業	○二次交通整備事業のバス乗車数	B	D	D	D
12	産業振興	もち食文化発信事業	○もちサミットの来場者数				
13	産業振興	一関・平泉バルーンフェスティバル事業	○バルーンフェスティバルの来場者数				
14	産業振興	地域内発型産業創出事業	○産学官イブニング研究交流会の参加者数	C	D	D	C
15	産業振興	企業立地促進事業	○工場の新設・増設または設備投資を行った企業数（累計）	D	D	D	C
16	産業振興	地産外商促進事業	○地産外商イベントにおける新規参加者の割合	A		A	
17	産業振興	農林水産業6次産業化支援事業	○6次産業化支援事業により商品化・製品化した数（累計）	D	D	C	C
18	産業振興	地元就業定着支援事業	○高校生を対象とした地元企業に対する理解促進を図るイベントでの参加者の満足度	B	A	B	B
19	産業振興	起業・創業応援事業	○起業支援セミナーの参加者数（累計）	B	C	C	A
20	教育及び文化	学校給食運営事業	○地場産品に関する食育活動の実施回数	C	C	C	C
21	教育及び文化	将来世代の人材育成事業	○圏域の中学3年生のうち、将来の夢や目標を持っている生徒の割合	B		B	B
22	教育及び文化	地元学事業	○地元学事業の参加者数及び開催回数	B	C	C	B
23	教育及び文化	学術・スポーツ振興事業	○東北規模以上の学会や大会等の開催数	A	C	D	D
24	教育及び文化	世界文化遺産調査整備事業	○包括的保存管理計画に基づく無量光院跡の整備進捗率	B	B	B	B
25	教育及び文化	世界遺産拡張登録推進事業	○世界遺産「平泉」の構成資産数	D	D	D	D
26	消防・防災	広域消防事業	○消防防災セミナー参加人数	C	D	D	D
27	地域公共交通	生活バス路線対策事業	○人口に対するコミュニティバス等の乗車人数（延べ）割合	B	B	B	C
28	交通インフラ整備	主要幹線道路等整備促進事業	○平泉スマートインターチェンジの1日当たりの利用台数			D	D
29	交通インフラ整備	幹線道路等整備事業	○市道、町道（幹線道路）改良率	B	B	B	B
30	協働のまちづくり	協働のまちづくり事業	○地域活動の事業数	A	C	B	B
31	地域外の住民との交流、移住促進	移住定住交流促進事業	○お試し移住の宿泊者数	D		D	D
32	地域外の住民との交流、移住促進	結婚活動支援事業	○合同婚活イベントのカップル成立組数（累計）	D		C	C
33	中心市等における人材育成	農村地域づくり支援事業	○外部人材が支援した地域数	D	C	B	B

第2次一関・平泉定住自立圏共生ビジョン 重要業績評価指標（KPI）の令和4年度実績一覧

No.	分野	①施策区分	②重要業績評価指標 (KPI)	単位	③現状値 (H30)	④実績値 (R1)	⑤実績値 (R2)	⑥実績値 (R3)	⑦実績値 (R4)	⑧目標値 (R5)	⑦事業名(取組)	評価 (目標値に対する進捗状況、成果、今後の取組等)	達成度
1	医療	休日・夜間診療体制確保事業	○休日及び夜間に対する診療の充足率	%	100	100	100	100	100	100	① 休日・夜間当番医制運営事業 ② 休日歯科応急診療運営事業 ③ 病院群輪番制病院運営事業	【進捗状況・成果】 ①休日当番医：受診者数 4,950人 ②夜間救急当番医：受診者数 790人 医師の働き方改革の推進と、入院や手術などが必要な患者を受け入れている県立病院等の救急医療（二次救急）体制の維持・確保のため、市では医療機関の適正受診の普及啓発に取り組んでいる。 また、県に対し、地域医療体制の充実等について継続して要望してきたところ、令和4年度には岩手県小児救急医療電話相談事業（#8000）の受付時間が「午後7時から11時まで」から「午後7時から翌朝8時まで」の延長（R5.2から）につながったものと捉えている。加えて、令和5年度には住民が急な病気などの際に救急車を呼ぶべきか相談できる救急安心センター事業（#7119）を実施するよう要望している。 【今後の取組等】 休日及び夜間等における初期救急（一次救急）のための医療提供体制を確保し、住民の安心に寄与した。今後も継続して取り組んでいく。	A
2	医療	新型コロナウイルスワクチン接種事業	○ワクチン接種率	%				※ワクチン2回目接種（5歳以上） 一関市 88.2% 平泉町 88.9%	※ワクチン2回目接種（5歳以上） 一関市 90.4% 平泉町 94.3%	80	① 新型コロナウイルスワクチン接種事業	【進捗状況・成果】 （一関市） 医療機関による個別接種と一関市総合体育館を会場とした集団接種による接種体制を構築し、住民へのワクチン接種の推進に努めた。 令和4年10月1日から開始したオミクロン株対応ワクチン接種は、65歳以上の高齢者の接種率は8割を越え、総人口に対する接種率も64.2%と、同時期の全国平均（44.7%）より大幅に、県平均（58.1%）より約6%上回っている。 （平泉町） 町民を対象に、長島体育館での集団接種を中心に一関市との共同接種体制を構築し個別接種を併用しながらワクチン接種を実施した。 関係機関、町民の理解と協力により高い接種率を確保できた。 【今後の取組等】 （一関市） 引き続き、希望する方がワクチン接種を受けられるよう、市医師会を始め、関係機関と協力・連携しながら接種体制を構築し、ワクチン接種の推進に努める。 （平泉町） 引き続き、希望する方がワクチン接種を受けられるよう、安心、安全、確実に接種が実施できるよう、一関市医師会をはじめ、関係機関、町民の協力によりワクチン接種体制を推進していく。	A
3	医療	地域医療確保対策事業	○医師・医療介護従事者修学資金貸付修学者数	人	13	14	12	15	14	15	① 医師修学資金貸付事業（一関市） ② 医療介護従事者修学資金貸付事業（医療従事者分）（一関市） ③ 看護職員復職支援対策事業（一関市） ④ 臨床研修医研究支援事業（一関市）	【進捗状況・成果】 県内を中心に高校や養成学校に制度の周知を行ったが、令和4年度は目標値にやや及ばなかった。 医師修学生の確保について、市内高校から医学部への進学者が少ないことや、県などで実施している奨学金制度と競合することもあり、人材の確保が難しい状況と捉えている。ただし、市の月額貸付金が他と比較して少額ということはない。 【今後の取組等】 修学生の多くは学校卒業後、市内医療機関に医療介護従事者として勤務しており、人材の確保に効果を発揮している。今後も継続して取り組んでいく。	B



第2次一関・平泉定住自立圏共生ビジョン 重要業績評価指標（KPI）の令和4年度実績一覧

No.	分野	①施策区分	②重要業績評価指標 (KPI)	単位	③現状値 (H30)	④実績値 (R1)	⑤実績値 (R2)	⑥実績値 (R3)	⑦実績値 (R4)	⑧目標値 (R5)	⑦事業名(取組)	評価 (目標値に対する進捗状況、成果、今後の取組等)	達成度
4	福祉	子育て世代の負担軽減事業	○保育料が無料となる第3子以降の数	人	186	199	218	174	178	180	① 第3子以降保育料軽減事業 ② 妊産婦医療給付 ③ 妊産婦交通費助成 ④ 乳幼児から高校生までの医療給付 ⑤ 出産祝金給付	【進捗状況・成果】 (一関市) 少子化や育児休業制度の取得促進等により、入所児童数が減少しているため、目標値を下回った。 R4.3.31 第3子以降入所児童数：703人 うち0～2歳児（保育認定）：263人 R5.3.31 第3子以降入所児童数：674人 うち0～2歳児（保育認定）：260人 (平泉町) 保育料の軽減により子育てにかかる経済的負担を軽減し、子どもを産み育てやすい環境づくりに努めた。 【今後の取組等】 (一関市) 令和5年度から、第2子以降の保育料が無償化となった。子育て世帯の負担軽減のため、制度の周知を行い、子育てをしやすい環境づくりに努める。 (平泉町) 引き続き保育料の軽減により子育てにかかる経済的負担を軽減し、子どもを産み育てやすい環境づくりに努める。	B
5	福祉	子育て環境整備事業	○地域子育て支援拠点事業の利用者数	人	27,932	23,154	15,804	12,127	10,778	27,600	① ファミリー・サポートセンター運営事業 ② 延長保育事業 ③ 一時預かり事業（保育所） ④ 幼稚園一時預かり事業（一関市） ⑤ 地域子育て支援拠点事業（一関市） ⑥ 子育て支援センター事業（平泉町） 子育て支援センター施設整備事業（平泉町）	【進捗状況・成果】 (一関市) 乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場を提供し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行うなど子育て世代への支援を行ったが、子どもの減少や就園児の増加に加えて、新型コロナウイルス感染症の影響により利用を控える傾向もあったため、目標値を大きく下回った。 就園年齢が低年齢化しているため利用者数は伸び悩んでいるが、在宅率の高い0歳児の利用が増加傾向である。 (平泉町) 新型コロナウイルス感染症の影響により昨年度以上に利用者数が減少傾向となった。 乳幼児及び保護者が相互の交流を行う場として、子育てについての相談、情報提供、助言等の支援を実施し地域の子育て支援機能の充実を図るとともに、子どもの健やかな育ちを支援することに努めた。 【今後の取組等】 (一関市) 利用実績は目標値を下回っているものの、保護者交流の場、育児相談の場として一定の需要はあると捉えている。 今後も利用者ニーズを把握しながら事業内容を工夫するなどして、地域の子育て支援機能の充実を図る。 (平泉町) 今後も乳幼児及び保護者が相互の交流を行う場として、子育てについての相談、情報提供、助言等の支援を実施し、地域の子育て支援機能の充実を図るとともに、子どもの健やかな育ちを支援していく。	D
6	福祉	在宅医療・介護連携推進事業	○医療・介護連携推進団体の研修、セミナー等の参加者数	人	632	1,071	277	17	373	650	① 地域医療・介護連携推進事業（一関市）	【進捗状況・成果】 情報交換会を企画などしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ほぼ研修会等を実施できなかったが、年度末に在宅医療・介護連携市民フォーラムを開催した。 【今後の取組等】 新型コロナウイルス感染症の感染状況等を見定めながら、研修等を企画していく。	C

第2次一関・平泉定住自立圏共生ビジョン 重要業績評価指標（KPI）の令和4年度実績一覧

No.	分野	①施策区分	②重要業績評価指標 (KPI)	単位	③現状値 (H30)	④実績値 (R1)	⑤実績値 (R2)	⑥実績値 (R3)	⑦実績値 (R4)	⑧目標値 (R5)	⑦事業名(取組)	評価 (目標値に対する進捗状況、成果、今後の取組等)	達成度
7	福祉	介護人材育成事業	○介護人材の確保に資する事業の利用者数	人	25	75	87	80	59	67	① 医療介護従事者修学資金貸付事業(介護福祉士分)(一関市) ② 医療介護人材育成事業(一関市) ③ 介護職員初任者研修支援事業(平泉町)	【進捗状況・成果】 (一関市) 介護職員のスキルアップや資格取得支援、就労・定着支援を行ったが、事業の利用者数が減少傾向にある。 (平泉町) 町内介護事業所は一関市に本部が所在していることがほとんどで、町の介護人材確保事業よりも市の介護人材確保事業を活用するケースが多く、今後もその傾向は変わらないものと想定される。 【今後の取組等】 (一関市) 人材確保、育成に向けた取組を推進するため、講座内容等の充実と効果的な周知により、参加者数の拡大や市内の介護人材の確保を目指す。また、必要に応じ制度の見直しを図っていく。 (平泉町) 介護人材の確保に資するよう、介護職員初任者研修支援事業として実施しているが、利用実績がないことからさらに周知を図っていく。	B
8	福祉	成年後見制度利用支援事業	○成年後見制度の研修会、講演会の参加者数	人	0	0	0	0	コロナのため、不開催	100	① 成年後見制度利用支援事業	【進捗状況・成果】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を見合わせた。 成年後見制度の普及及び利用促進の取組を進めるため、地域連携ネットワークの構築に係る検討会を開催した。	
9	産業振興	世界遺産「平泉」を核とした観光地域づくり事業	○圏域内の宿泊者数	人	358,232	335,346	223,658	275,915	349,267	367,700	① DMOによる観光地域づくり事業(一関市)	【進捗状況・成果】 (一関市) 新型コロナウイルス感染の収束が見通せない状況であり、低調な観光入込客数となった。 宿泊応援事業や旅行商品応援事業を実施して宿泊事業者や旅行事業者等に対する各種支援策を行うとともに、県や平泉町、奥州市、宮城県栗原市、登米市など近隣市町村と連携して誘客事業に取り組み、少しずつではあるが、宿泊者数も回復の兆しをみせてきている。 (平泉町) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、地方創生臨時交付金等を活用した観光関連事業者に対する支援対策事業の実施、コロナ禍における集客イベントの開催や誘客プロモーション等の実施により、宿泊観光需要の回復に努めた。 【今後の取組等】 (一関市) 観光の目的が多様化し、観光客のニーズに対応した観光情報の提供が求められていることから、SNS、パンフレット、TV、新聞、情報誌、プロモーション動画等、多彩なツールを活用した情報発信に努め、引き続き、誘客の促進に取り組んでいく。また、主要観光地や飲食店、土産物店、博物館、道の駅等の情報や一関ならではの体験資源を旅行者向けに広く周知するなどして、本市における滞在時間の増加に努め、宿泊者の増加に繋げる。 (平泉町) さらなる交流人口・経済活動の回復を見据え、引き続き誘客プロモーション等事業に取り組んでいく。	B

第2次一関・平泉定住自立圏共生ビジョン 重要業績評価指標（KPI）の令和4年度実績一覧

No.	分野	①施策区分	②重要業績評価指標 (KPI)	単位	③現状値 (H30)	④実績値 (R1)	⑤実績値 (R2)	⑥実績値 (R3)	⑦実績値 (R4)	⑧目標値 (R5)	⑦事業名(取組)	評価 (目標値に対する進捗状況、成果、今後の取組等)	達成度
10	産業振興	インバウンド推進事業	○圏域内の外国人宿泊者数	人	6,710	8,259	400	567	7,503	17,100	① インバウンド推進事業	【進捗状況・成果】 (一関市) 新型コロナウイルス感染の収束が見通せない状況であったが、海外からの受け入れが再開された10月以降、訪日外国人観光客は増加した。 民間事業者が実施する多言語案内看板の整備に対して支援を行い、受入環境の強化に努めた。 (平泉町) 国の新型コロナウイルス感染症に対する水際対策の緩和を受け、外国人観光客の宿泊者数も回復傾向に転じたことから、インバウンド再開を見据え、プロモーション活動等事業の検討を行った。	D
											② 観光ガイド事業(一関市)	【今後の取組等】 (一関市) 引き続き、接客能力の向上、体験型観光資源の充実、多言語表示など受入環境整備に継続して取り組むとともに観光関係団体等との連携によるPR・情報発信の強化に努めていく。 (平泉町) 本格的なインバウンドの回復に向け、パンフレットの刷新や情報発信の強化、プロモーション活動の実施等各種事業を推進していく。	
											③ インバウンド対応職員配置事業(平泉町)		
11	産業振興	観光地間二次交通整備事業	○二次交通整備事業のバス乗車数	人	4,294	4,321	563	537	1,130	4,500	① 観光地間二次交通整備事業(一関市)	【進捗状況・成果】 観光客の円滑な移動手段(利便性)を確保し、周遊観光を促進させ、滞在時間や交流人口の拡大を図った。 利用者は、令和3年度と比較し593人増加しており、コロナ禍以降減少していた観光客の利用状況は回復傾向にある。  【今後の取組等】 周遊観光の促進のため、二次交通網の整備は継続して行うが、費用対効果の観点から、現状の運行形態などの見直しを行う。	D
12	産業振興	もち食文化発信事業	○もちサミットの来場者数	人	24,366	台風のため中止	コロナのため中止	コロナのため中止	コロナのため、中止	26,000	① 全国もちフェスティバル開催費補助金(一関市)	【進捗状況・成果】 令和元年度は台風で中止。令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため中止。 令和4年度は、スタンプラリーイベントを開催し、139名からの応募があった。	
											② 食と農の観光PR事業(一関市)	【今後の取組等】 開催方法、開催時期など開催に向け、実行委員会で検討していく。(令和5年度は開催を決定している。)	
13	産業振興	一関・平泉バルーンフェスティバル事業	○バルーンフェスティバルの来場者数	人	16,500	台風のため中止	コロナのため無観客開催	コロナのため無観客開催	会場の分散化により、集計不可	17,500	① 一関・平泉バルーンフェスティバル事業(一関市)	【進捗状況・成果】 規模縮小ながらも、3年ぶりとなる有観客開催とし、開催を通じて全国に情報発信するとともに、にぎわいの創出、地域経済の活性化を図った。  【今後の取組等】 継続実施により、滞在型観光の誘客を促進するほか、一時的な集客イベントだけでなく、宿泊利用や交流人口の拡大により、さらなる地域経済の活性化を図る。  【参考】 令和4年度は、コロナ禍での開催ということもあり、イベント会場を分散化して実施したため、来場者のカウントは行っていない。 実行委員会の発表では3日間の合計で85,000人の観客数であった。	



第2次一関・平泉定住自立圏共生ビジョン 重要業績評価指標（KPI）の令和4年度実績一覧

No.	分野	①施策区分	②重要業績評価指標 (KPI)	単位	③現状値 (H30)	④実績値 (R1)	⑤実績値 (R2)	⑥実績値 (R3)	⑦実績値 (R4)	⑧目標値 (R5)	⑦事業名（取組）	評価 (目標値に対する進捗状況、成果、今後の取組等)	達成度
14	産業振興	地域内発型産業創出事業	○産学官イブニング研究会の参加者数	人	709	570	170	185	446	750	① 地域内発型産業創出事業（一関市）	【進捗状況・成果】 コロナ禍の前年度に比べ開催回数を増やすことができた。（令和4年度6回：前年度比+3回） ICT活用、IT人材育成、DXやBCPなどのセミナーを実施し企業力の向上を図った。 また、年明けからは3年ぶりに交流会を含む従来のスタイルで開催し、産学官の連携強化とネットワークの構築を図った。  【今後の取組等】 今後も、感染症防止対策を講じ、企業や一関高専教員等の様々な分野の方を講師に招いた講演会や異業種による交流会に向け、関係機関と連携して取り組んでいく。	C
											② ものづくり産業振興事業（一関市）		
											③ 地域企業取引拡大支援事業（一関市）		
15	産業振興	企業立地促進事業	○工場の新設・増設または設備投資を行った企業数（累計）	社	15	12	21	33	45	85	① 企業立地促進奨励事業費補助金	【進捗状況・成果】 （一関市） 新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が制限された状況の中、工場の新設や増設、設備投資により生産能力の増強を図るとともに雇用の創出が生（令和4年度：115名雇用増）まれた。また、新規設備導入により生産規模の拡大と販路開拓につながった。 （平泉町） 訪問や電話などを通じて情報交換を行い、そのうちの1社については、工場増設につなげることができた。  【今後の取組等】 （一関市） 今後も企業のニーズを調査し、市の支援策をPRすることにより企業の増設を支援していく。 （平泉町） 新型コロナウイルス感染症が第2類から第5類に移行したことを受け、企業活動の回復が期待されることから、事業活動の活性化に向けて、引き続き情報交換を行いながら支援していく。	C
											② 地域企業経営強化支援事業費補助金		
											③ 生産設備等投資促進補助金（一関市）		
16	産業振興	地産外商促進事業	○地産外商イベントにおける新規参加者の割合	%	52	100	コロナにより未開催	100	コロナのため、中止	57	① 地産外商促進事業	【進捗状況・成果】 新型コロナウイルス感染症等の影響により、地産外商イベント（うまいもん！まるごと一関の日）は開催できなかったことから、新規参加者の割合は0であるが、地産外商事業として販路開拓セミナーや商談会を実施した。  【今後の取組等】 これまで実施してきた地産外商イベントに、生産者のビジネス展開につながる新たな需要先開拓の取組を加えながら検討していく。	

第2次一関・平泉定住自立圏共生ビジョン 重要業績評価指標（KPI）の令和4年度実績一覧

No.	分野	①施策区分	②重要業績評価指標 (KPI)	単位	③現状値 (H30)	④実績値 (R1)	⑤実績値 (R2)	⑥実績値 (R3)	⑦実績値 (R4)	⑧目標値 (R5)	⑦事業名(取組)	評価 (目標値に対する進捗状況、成果、今後の取組等)	達成度
17	産業振興	農林水産業6次産業化支援事業	○6次産業化支援事業により商品化・製品化した数(累計)	件	2	9	10	14	18	31	① 農工商連携開発事業費補助金(一関市)	【進捗状況・成果】 (一関市) 令和4年度は、地域の農産物をを活用した加工品開発や施設整備などを支援する農工商連携開発事業費補助金を継続し、市内事業者の連携による4件の商品化に繋がった。 (平泉町) 成果品は各種イベント等で販売や紹介を行い、販路開拓・特産品を目指して活動を継続している。	C
											② 6次産業化促進支援事業費補助金(平泉町)	【今後の取組等】 (一関市) 消費者や小売事業者、外食事業者などの商品のバイヤーのニーズを踏まえた商品開発やその先の販路を見据えた事業展開が必要であることから、商品開発や販路拡大のスキルを習得する販路開拓セミナーや商品のバイヤーとのマッチングの機会となる商談会の開催などを通じて、販路拡大や地域資源を活用した地域ブランド創出を目指す生産者等が実践的なビジネス展開を図ることができるような支援策に今後も取り組んでいく。 (平泉町) 今後は、6次化を目指す新たな事業者等を発掘するため、広報やHPを使った周知活動を引き続き行い、製品化した商品に関しては、ふるさと納税の返礼品とすることを目標とする。R5年度は1件見込みあり、商品化に向けて取組中。	
18	産業振興	地元就業定着支援事業	○高校生を対象とした地元企業に対する理解促進を図るイベントでの参加者の満足度	%	92.0	94.3	98.4	90.8	82.4	96.0	① 希望のまち基金事業	【進捗状況・成果】 令和3年度から一関高専の3年生を対象に加えて以降、最大の参加率となった。  【今後の取組等】 参加率を更に上げるため、チラシ配布のほか、ポータルサイトやSNSなど若者が目にしやすい媒体を活用し、PRしていきたい。 また、保護者の参加率も上げるため、学校等の協力を得ながら、周知に取り組む。  【参加者数のうち、高専生の割合推移】 H28 41% H29 42% H30 43% R1 32% R2 ※コロナ未開催 R3 64% R4 75%	B
											② 若者等ふるさと就職支援事業費		
											③ 地域企業魅力発見事業(一関市)		
											④ 次世代ものづくり定住促進対策事業(一関市)		
											⑤ 企業魅力発見事業(一関市)		
											⑥ 若者地元就業定着支援事業(一関市)		
											⑦ インターンシップ促進助成金(一関市)		
											⑧ 奨学金返還補助事業(一関市)		
											⑨ 新規学卒者等就農促進支援事業(一関市)		
											⑩ 新規就農者支援事業補助金(平泉町)		



第2次一関・平泉定住自立圏共生ビジョン 重要業績評価指標（KPI）の令和4年度実績一覧

No.	分野	①施策区分	②重要業績評価指標 (KPI)	単位	③現状値 (H30)	④実績値 (R1)	⑤実績値 (R2)	⑥実績値 (R3)	⑦実績値 (R4)	⑧目標値 (R5)	⑦事業名(取組)	評価 (目標値に対する進捗状況、成果、今後の取組等)	達成度
19	産業振興	起業・創業応援事業	○起業支援セミナーの参加者数(累計)	人	49	215	160	193	286	250	① いちのせき起業応援事業(一関市)	【進捗状況・成果】 (一関市) 令和4年度は、既存のいちのせき起業応援講座の実施のほか、若者活躍会議から提案のあった地域ビジネス創出事業におけるシゴト・ツクル・ゼミなど新たな起業応援講座の開催に取り組んだ。 (平泉町) 創業に向けた基礎知識の習得や計画の策定などについて、全4回講座の創業セミナーを関係機関と連携して開催し、若手経営者や後継者の育成に努めた。  【今後の取組等】 (一関市) 若者世代を中心にアントレプレナーシップの普及・醸成に取り組む。 いちのせきスタイルの起業支援の確立に向けて、既存事業の整理、新規取組に向けた先進事例の収集、先進地視察に取り組む。 (平泉町) 町が実施しているプログラミング講座の受講生も創業に向けたセミナーに加え、町内において創業を目指す人材の掘り起こしと育成を推進する。	A
											② ひらいずみ創業塾(平泉町)		
											③ 空き店舗入居支援事業(一関市)		
											④ 空き店舗対策事業(平泉町)		
20	教育及び文化	学校給食運営事業	○地場産品に関する食育活動の実施回数	回	38	41	31	42	42	54	① 学校給食センター運営費(一関市)	【進捗状況・成果】 (一関市) 各施設における農作業体験の回数は新型コロナウイルス感染症予防に留意し、工夫をしながら地域と連携し、実施できている。 (平泉町) 地場産物の活用と食育を第6次総合計画の主要施策と位置づけ、両小学校において地元の給食食材生産者との交流や体験をより活発に行うことができた。 また、平泉中学校においては郷土愛を育む食育交流事業の一環として行われていている学校給食コンテストに参加した。  【今後の取組等】 (一関市) さらなる食育推進にむけ、学校・保護者・地域と連携を深められるように創意工夫し、持続性のある取り組みを図っていきたい。 (平泉町) 今後も各校においてさらに多くの生産者さんと関わり、様々な体験の実施ができるよう、教育委員会として各学校に対し助言等を行い、取り組みを深めていきたい。  【参加者アンケート】 ・地場産の食材やその良さについてわかった 99% ・地場産の食材を大切にしたい(自慢したい)と思う 93% 【参加校アンケート】 ・事業実施後子ども達に変化はあった 100%  【主な変化】 ・地場産野菜や郷土食への関心が高まった ・地域農業や食文化を知るきっかけになった ・苦手なものを食べようとする姿がみえた ・家でも料理を作って家族に食べさせたいと思った	C
											② 平泉中学校給食事務委託事業(平泉町)		
											③ 郷土愛を育む食育交流事業(一関市)		

第2次一関・平泉定住自立圏共生ビジョン 重要業績評価指標（KPI）の令和4年度実績一覧

No.	分野	①施策区分	②重要業績評価指標 (KPI)	単位	③現状値 (H30)	④実績値 (R1)	⑤実績値 (R2)	⑥実績値 (R3)	⑦実績値 (R4)	⑧目標値 (R5)	⑦事業名（取組）	評価 (目標値に対する進捗状況、成果、今後の取組等)	達成度
21	教育及び文化	将来世代の人材育成事業	○圏域の中学3年生のうち、将来の夢や目標を持っている生徒の割合	%	72.0	72.4	コロナのため調査未実施	67.0	65.1	77.0	① 英語の森キャンプ事業費 ② 外国語指導助手配置事業 ③ 中学生最先端科学体験研修事業 ④ 中学生の社会体験学習事業（一関市） ⑤ 中学生 I L C 特別授業実施事業（一関市）	【進捗状況・成果】 一関市：夢や目標を持っていると回答（802人中530人） 平泉町：夢や目標を持っていると回答（59人中31人） 全体：夢や目標を持っていると回答（861人中561人）  【今後の取組等】 （一関市） カリキュラム・マネジメントの視点も踏まえながら、キャリア教育を教科等横断的に各教科に位置付け、夢や目標をもちながら主体的に学んでいく生徒の育成を図る。 （平泉町） 英語の森キャンプ事業への参加（中学校2年生3人、小学校6年生1人） 中学生最先端科学体験研修事業への参加（中学校3年生2人）	B
22	教育及び文化	地元学事業	○地元学事業の参加者数	人	1,498	1,472	1,244	1,219	1,514	1,680	① 地元学を通じた交流事業（一関市）  ② ～過去に学び、今を見つめ、未来を考える～平泉ひとづくり事業（平泉町）	【進捗状況・成果】 （一関市） 新型コロナウイルス感染症の影響による中止が無かったことから、実績については徐々に回復している。 定員を少なく設定する等の感染防止対策を継続していることから、コロナ禍前の実績まで回復することは難しい状況となっている。 （平泉町） これまでの新型コロナウイルスの感染対策の成果や課題を活かしなが、活動内容や参加人数等の制限を緩和し、少しずつ各種事業を再開することができた。 昨年度に引き続き、事業対象者や関係者に対して、事業説明や企画・実施の相談対応、感染対策の支援を行いながら、地元学事業の提供に継続して取り組み、実績を伸ばすことができた。  【今後の取組等】 （一関市） 広報活動の展開により、新規講座利用者の掘り起こしを行う。 小中学校や社会教育事業等との連携を働きかける。 （平泉町） 各種事業について可能な限りコロナ禍以前の水準に戻すことを目指し、今年度の取り組みを検証しながら、町民に対してさらに充実した学習機会を提供できるよう努めていきたい。	B
23	教育及び文化	学術・スポーツ振興事業	○東北規模以上の学会や大会等の開催数	回	3	4	2	1	0	4	① 学会等開催補助金（一関市）	【進捗状況・成果】 事業実施 0件（事業申請無し）  【今後の取組等】 ILCの進捗状況やコロナの影響を踏まえながら、引き続き、学会等の開催誘致や事業周知に取り組む。	D
24	教育及び文化	世界文化遺産調査整備事業	○包括的保存管理計画に基づく無量光院跡の整備進捗率	%	63	90	93	94	95	100	① 平泉遺跡群調査整備事業（平泉町）	【進捗状況・成果】 池北側の岬と入り江の整備を行った。  【今後の取組等】 国庫補助金減額の影響を受け整備進捗に影響が出ており、完成までに数年を要する見込み。 令和5年度は池北東側護岸・池底及び隣接する道路の修景護岸を整備する計画である。	B

第2次一関・平泉定住自立圏共生ビジョン 重要業績評価指標（KPI）の令和4年度実績一覧

No.	分野	①施策区分	②重要業績評価指標 (KPI)	単位	③現状値 (H30)	④実績値 (R1)	⑤実績値 (R2)	⑥実績値 (R3)	⑦実績値 (R4)	⑧目標値 (R5)	⑦事業名(取組)	評価 (目標値に対する進捗状況、成果、今後の取組等)	達成度
25	教育及び文化	世界遺産拡張登録推進事業	○世界遺産「平泉」の構成資産数	資産	0	0	0	0	0	3	① 骨寺村荘園遺跡調査研究事業（一関市）	【進捗状況・成果】 (一関市) これまで指摘された課題解決のため、これまでの調査研究成果を整理し、県・関係機関と連携し拡張登録検討委員会を開催した。拡張検討委員会からは、柳之御所遺跡のみを推薦資産とする最終意見が示された。 (平泉町) 拡張登録を目指している達谷窟の調査研究を進めた。  【今後の取組等】 (一関市) 拡張登録に向けた調査研究を継続していく。 (平泉町) 岩手県、一関市、奥州市と連携しながら取り組みを進めたい。	D
											② 骨寺村荘園遺跡世界遺産登録推進事業（一関市）		
											③ 拡張登録推進事業（平泉町）		
26	消防・防災	広域消防事業	○消防防災セミナー参加人数	人	12,246	9,827	3,641	4,622	4,836	13,000	① 常備消防事業（一関市）	【達成率】37.2% 【進捗状況・成果】 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、R3年度比較して参加人数は214名の増加、実施回数は16回の増加となり、セミナー参加者に対しては防災意識啓発を図ることが出来た。  【今後の取組等】 住民への防災意識啓発のため、自主防災組織をはじめとして消防団や企業、学校などへ消防・防災セミナーの参加を促していく。  【備考】 令和2年度から3年間は、新型コロナウイルス感染症の影響により、受講人数が例年の約半数以下となっている。	D
											② 消防事務委託事業（平泉町）		
27	地域公共交通	生活バス路線対策事業	○人口に対するコミュニティバス等の乗車人数（延べ）割合	%	130	113.0	117.2	107.7	102.9	130	① バス運行事業費補助金（一関市）	【進捗状況・成果】 (一関市) 室根地域へのデマンド型乗合タクシーの導入、待合環境の整備（商業施設・病院等への路線図・時刻表の貼り出し）、バス路線の経路、時刻の見直しなどに取り組んだが、沿線人口の減少や車社会の進展などにより、指標の目標値を下回る結果となった。 (平泉町) R3年度の実証実験に続き、R4年度は本格運行を実施した。バス停を整備し、利用者の利便性向上を図った。  【今後の取組等】 (一関市) 一関市地域公共交通計画（R5策定予定）の策定に当たり、公共交通に係る現状と課題を整理し、市民生活に必要な移動手段の確保に努め、利用促進を図っていく。 (平泉町) 利用者ガイドを作成し、さらなる利便性向上、利用者増を図るとともに、今後はより地域に親しみのある公共交通のあり方を検討する。	C
											② 市営バス運行事業（一関市）		
											③ 廃止路線代替バス運行補助金（平泉町）		
											④ 患者輸送バス運行事業（平泉町）		
28	交通インフラ整備	主要幹線道路等整備促進事業	○平泉スマートインターチェンジの1日当たりの利用台数	台	2021年3月 供用開始	-	-	411	19.7	1,300	① 平泉スマートIC関連整備事業（平泉町）	【進捗状況・成果】 観光地へのアクセス向上や、物流企業が立地する工業団地への距離短縮による物流の効率化に大きく寄与している。  【今後の取組等】 平泉スマートインターチェンジ駐車場でのイベント開催などとの連携や、企業誘致の促進により、利用台数を増加させる事業を検討していく。	D



第2次一関・平泉定住自立圏共生ビジョン 重要業績評価指標（KPI）の令和4年度実績一覧

No.	分野	①施策区分	②重要業績評価指標 (KPI)	単位	③現状値 (H30)	④実績値 (R1)	⑤実績値 (R2)	⑥実績値 (R3)	⑦実績値 (R4)	⑧目標値 (R5)	⑦事業名(取組)	評価 (目標値に対する進捗状況、成果、今後の取組等)	達成度
29	交通インフラ整備	幹線道路等整備事業	○市道、町道（幹線道路）改良率	%	56.7	57.1	57.0	57.2	57.4	57.7	① 広域基盤整備事業（一関市）	【進捗状況・成果】 （一関市） 順調に改良率が推移している。 （平泉町） 平泉町の幹線道路における改良整備のR4実績はなかった。 現在、平泉町において幹線道路におけるR5年度目標値は完了となっている。  【今後の取組等】 （一関市） 今後も交付金事業を活用した予算確保に努め、事業を推進する。	B
											② 町道祇園線道路整備事業（平泉町）		
30	協働のまちづくり	協働のまちづくり事業	○地域活動の事業数	事業	384	402	288	365	368	385	① 市民活動推進事業（一関市）	【進捗状況・成果】 （一関市） 事業数で436事業を計画し、目標値を超える事業に取り組む計画としていたが、感染対策を講じる中でも新型コロナウイルス感染症の影響は避けられず、70事業が中止となったが、前年度を上回る事業数となった。 （平泉町） 感染症対策を実施しながら事業を行う地域団体を継続的に支援をすることにより、コロナ禍において断続的だった活動を継続して行えるようになり、地域活動の回復と活性化、交流人口の創出に寄与することができた。  【今後の取組等】 （一関市） 地域協働体が取り組む事業数は回復傾向にあることから、引き続き地域の課題解決に向けた取組を支援していく。 （平泉町） 新型コロナウイルス感染症の位置付けが「5類感染症」になり、回復傾向にある地域活動を引き続き支援していくことにより、その取組がまちの更なる活性化につながるよう、ウィズコロナを見据えた取組を含めた支援を継続していく。	B
											② 地域協働体活動費補助金（一関市）		
											③ 協働のまちづくり推進事業（平泉町）		
31	地域外の住民との交流、移住促進	移住定住交流促進事業	○お試し移住の宿泊者数	人	13	4	コロナにより未実施	1	0	30	① 移住定住環境整備事業	【進捗状況・成果】 新型コロナウイルス感染症の影響が徐々になくなってきている中で、移住体験ツアーやオンラインセミナーなどの実績はあったが、お試し移住の実績はなかった。（お試し移住は、本気で移住を検討している方にお薦めしていることもあり実績はなかったと捉えている）  【今後の取組等】 引き続き、各種イベントや補助金などとセットで、お試し移住の活用を促し、当市のファンになってもらうこと、将来の移住候補地としてもらえるように取り組む。	D
											② 地域間交流推進事業		
32	地域外の住民との交流、移住促進	結婚活動支援事業	○合同婚活イベントのカップル成立組数（累計）	組	6	9	コロナにより未実施	11	15	19	① 結婚活動支援事業	【進捗状況・成果】 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、対面式のイベントを開催。男性11人、女性10人が参加し、カップル4組が成立した。  【今後の取組等】 引き続き広域での出会いの場の創出に取り組んでいく。	C
33	中心市等における人材育成	農村地域づくり支援事業	○外部人材が支援した地域数	地域	33	11	27	33	36	40	① 緑のふるさと協力隊地域支援事業（一関市）	【進捗状況・成果】 販路拡大に向けた活動を中心とした取り組みを行ったことから、新たな地域の開拓や支援活動には至らなかった。  【今後の取組等】 地域ブランドの開発、PR、販路拡大に向けた取り組みを中心とした活動に取り組んでいく。	B
											② 農村地域づくり活動支援事業（一関市）		

【参考】

### 第3次一関・平泉定住自立圏共生ビジョン圏域の将来像（目指す姿）について

#### 1 計画全体に盛り込む要素

##### 【SDGs との関連性について】

両市町では、最上位計画である総合計画に SDGs の理念を取り入れていることから、第3次一関・平泉定住自立圏共生ビジョンにおいても SDGs の理念を踏まえた計画としたい。

#### 2 圏域の目指す姿

##### 【第1回懇談会やアンケート結果等を基にした事務局の考える3つの圏域の目指す姿について】

- ① “子育てがしやすい” “雇用が創出される” “誰もが暮らしやすい” 圏域
- ② “圏域の文化に誇りを持ち、次の世代に伝え、つなぐ” “市民、地域と行政が協働する” 圏域
- ③ “人の流れがある” “圏域内外との結びつきや交流が深まる” “人を惹きつける” 圏域

##### 【目指す姿①の考え方について】

“子育てがしやすい” “雇用が創出される” “誰もが暮らしやすい” 圏域

##### 【キーワード】

- ・「少なくとも少子化が緩やかになるような施策」（アンケート結果（今後心配なこと））
- ・経済基盤、「二次交通の整備」（アンケート結果（住みにくい理由、力を入れていく分野））
- ・「人と人、地域と地域が繋がる」
- ・「LGBTQに関する取組」（多様性を認める社会）
- ・

##### 【目指す姿②の考え方について】

“圏域の文化に誇りを持ち、次の世代に伝え、つなぐ” “市民、地域と行政が協働する” 圏域

##### 【キーワード】

- ・「地域にある「宝物」をブラッシュアップし、地域の宝物を育てていく」
- ・「圏域住民に地域の魅力に気付いてもらう」
- ・「大人が地域に誇りを持ち、こどもにその誇りを伝える」
- ・世界遺産「平泉」（アンケート結果（大切にしたい、残したい、誇れるもの））
- ・シビックプライド（エリアプライド）の醸成
- ・

##### 【目指す姿③の考え方について】

“人の流れがある” “圏域内外との結びつきや交流が深まる” “人を惹きつける” 圏域

##### 【キーワード】

- ・市町最大の課題である“人口減少”に対する対処としての、移住・定住の推進
- ・栗登一平4市町合同の婚活事業の実施等
- ・圏域の魅力を国内外に広く発信する一関・平泉バルーンフェスティバル等の開催
- ・

【キーワード】の「」は第1回懇談会において、委員から発言のあったもの

### 圏域の将来像（第2次共生ビジョン）

今日の社会情勢は、少子高齢化の進行、産業・就業構造の変化、人口知能、ロボットなど第4次産業革命と呼ばれる技術革新やグローバル化の進展など大きく変化している。

人口減少の速度は、岩手県は全国平均より早く進んでいる。また、一関市と平泉町からなるこの圏域は県内他市の平均よりさらに速く、急激な人口減少に伴う地域社会の活力の低下が危惧されている。

一方で、住民や企業等の経済活動圏、生活圏は市町村の枠を越えてさらに広域化しており、また、人口減少と高齢化がさらに進む中で、行政に対するニーズも多様化、高度化してきていることから、現在の行政サービスのあり方を、広域的視点に立った、時代に合ったものに変えていくことが求められている。

このような状況を踏まえ、人口減少社会や高齢化社会に対応できる地域づくりのためには、しっかりと定住施策が必要である。 **社会情勢の変化に合わせて修正します。**

両市町は、次の3つを基本的な視点として、適切な役割分担と連携を図り、この圏域に暮らす住民が「郷土の誇りを育み、住み続けていきたいと思える一関・平泉定住自立圏」の形成を目指すものである。

若い世代が希望を持って働くことができる雇用の創出、子どもを産み育てやすい環境づくり、高齢になっても暮らしやすい生活環境の整備を通じて、生涯にわたって安心して健やかに暮らせる圏域を目指す。

世界文化遺産「平泉」やもち食文化をはじめ、自然や人の営みが育んだ特色ある歴史や文化、産業などの地域資源を磨き上げ、活力あふれる圏域をつくり、次の世代につないでいくことを目指す。

圏域の魅力や暮らしやすさを出身者や移住希望者へ伝えることにより、U I J ターンの流れを促進するとともに、国際化が進展する中で、国内外の人を惹きつけ、呼び込み、相互の交流が深まる圏域を目指す。

将来像の視点

文章化して、基本的な視点にします。